



Cloud**CIRCUS**

クラウドサーカス株式会社
『IZANAI powered by OpenAI』 説明資料

東証プライム市場：証券コード3393 スターティアホールディングスグループ

1. 会社紹介
2. 生成AIとチャットボット市場背景
3. IZANAI Powered by OpenAI について



さあ、顧客を増やそう。



Cloud
CIRCUS

デジタルマーケティングのすべてがここに。

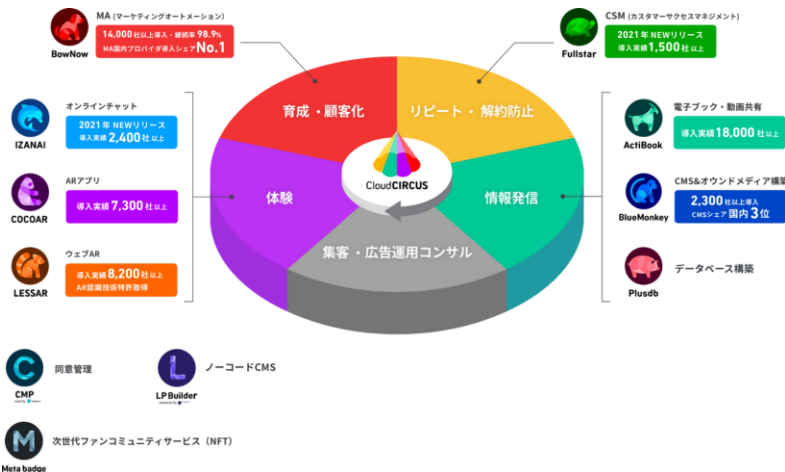


累積導入数
55,000 以上

※2024年3月時点

専任担当や専門知識が無くても、使いこなせる、
中小企業に丁度良いプロダクト。

全ての商材に共通した思想
誰もが使いやすい
マーケティングツール



Mission

働くに楽を。

「日本は生産性が低い」と言われます。
しかし、この国には優れたものづくりやサービス、
そして優秀な人々がたくさん存在しています。

足りないのは「マーケティング」である。
さまざまな現場を見てきた私たちはそう考えます。
マーケティングによる最適化ができないから、
正しい「利益」を生み出せない。
結果として生産性が低くなってしまふ。

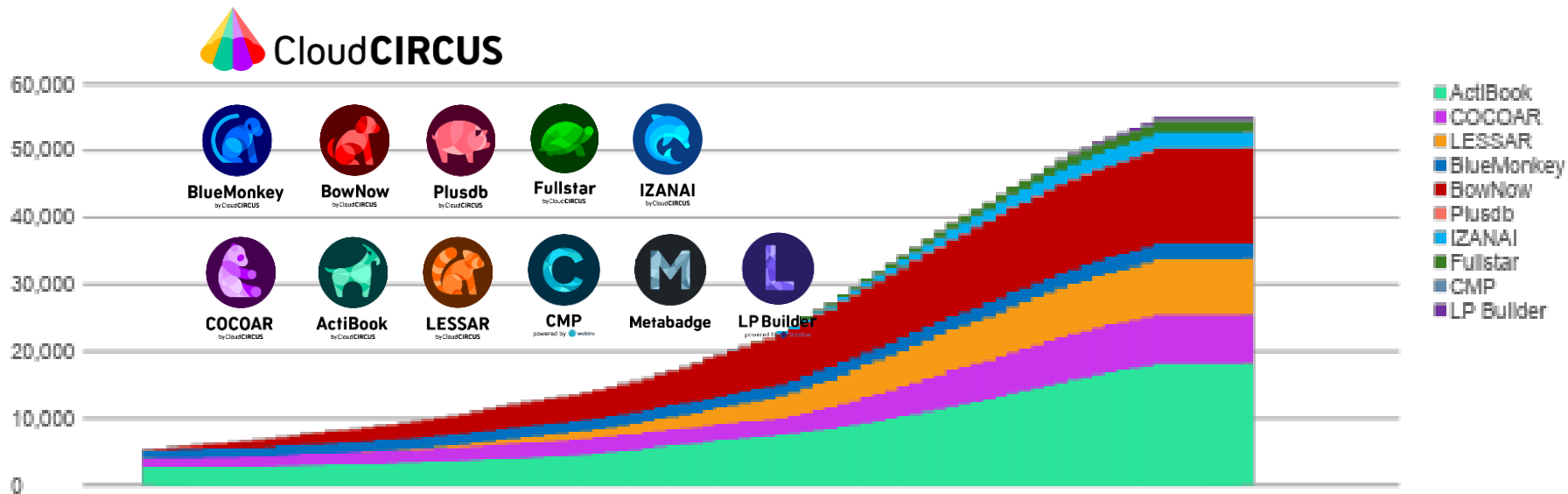
だからこそ、マーケティング・オートメーションや
エンターテインメント・テクノロジー、
それらを「適正価格」で使えるようにすることで、
日本のあらゆるビジネスにマーケティングを届けていきたい。

技術は「人」のためにある。その前提を私たちは追いかけます。
テクノロジーに任せられることは任せ、
人は「人がやるべき仕事」をやればよい。

人を楽にすること。そして、人がより楽しく働ける社会へむけて。
私たちはサステナブルなビジネス環境を創造していきます。

CloudCIRCUS

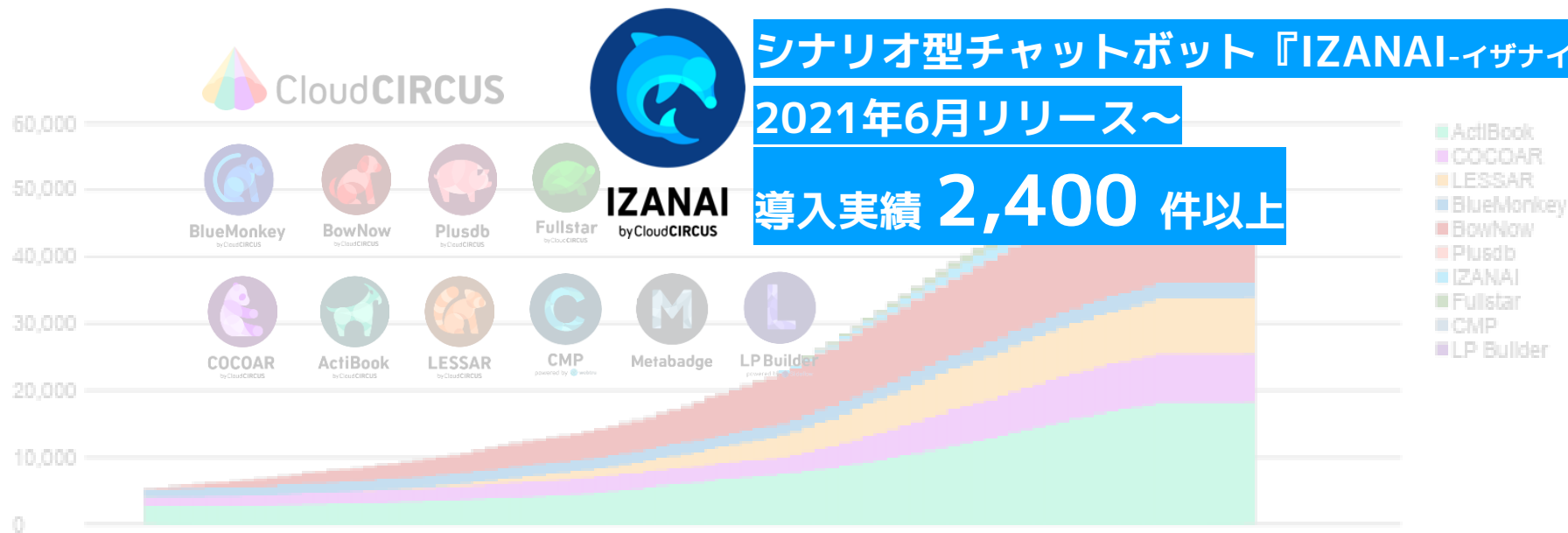
24年3月末段階で**累計55,000件**※導入を突破。中小企業の支持を大きく広げて成長。



※フリーミアムを含む

Cloud CIRCUSの成長軌跡

24年3月末段階で 累計55,000件※導入を突破中小企業の支持を大きく広げて成長。



※フリーミアムを含む

チャットボットが大事なのは分かるけど…

カスタマーサポート対応でボットを検討したが、**実装コストから断念した。**



過去にチャットボットを作成したけれど、面倒で**古いまま更新できていない。**




何かAI関連の取り組みを始めてみたいけれど、**生成AIにハードルを感じる。**



AI型チャットボット



IZANAI

powered by  OpenAI

2024年6月リリース 🍦



PDFやWebがAIロボットになる





1 作成はPDFやWebをアップロードするだけ



面倒な初期設定は不要。
お手持ちのデータをアップロードするだけで、チャットボットとして運用可能です。

2 シナリオやQAなど直接的な情報更新は不要



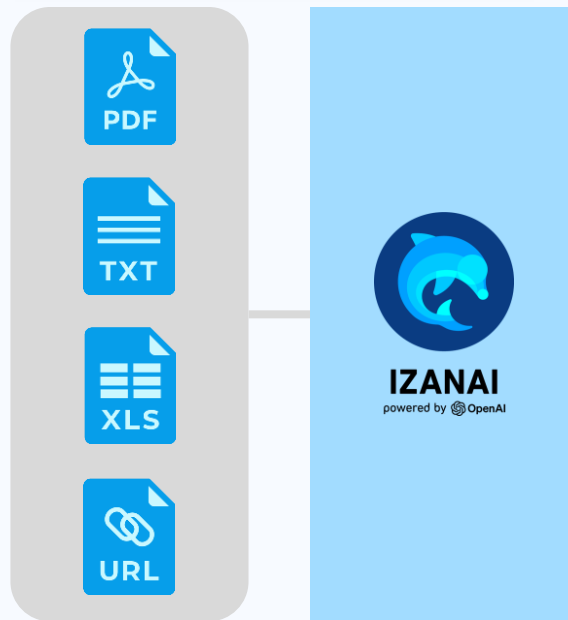
シナリオやQA設定など、ツールに直接的な編集を行う必要ナシ。
手元のデータを編集してアップロードするだけで情報更新が可能

3 シンプルな機能で情報セキュアに運用



誰もが使えるシンプル機能。
社内情報もプライベートDBに格納されるので、情報セキュアに運用できます。

Step1 : データの登録



学習データとしてアップロードする
ファイルの選定を行う

Step2 : ボット確認



データ登録後、ボット名やAI度合を
調整して、チャットデモを確認する

Step3 : 公開スタート



ウィジェットやURLで公開スタート
ユーザー会話ログからチューニング



社内における問い合わせ工数を削減する目的

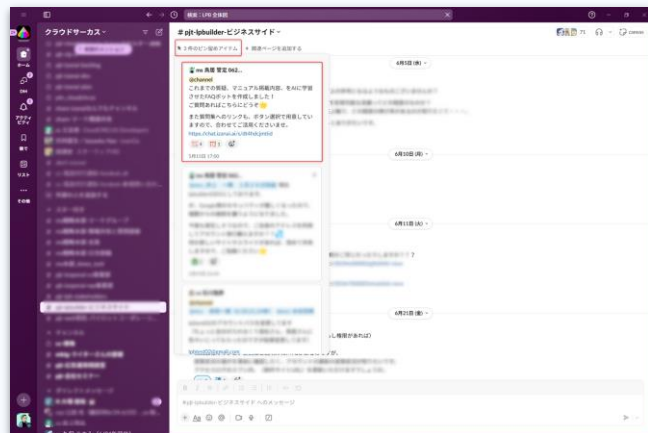
主な設置先：社内ポータル、コミュニケーションツール、など

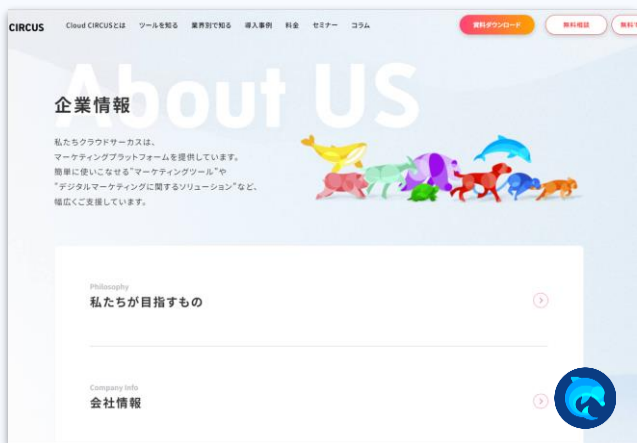
例1

情報システム部における質疑では、社内利用のシステムに関することから単なるパソコンのトラブルシューティングまで多数の質問が寄せられますが、まるっとAIボットに投げてもらえば、大概のお問い合わせは解決可能。

例2

サービスや商品における、細かい仕様確認であったり、動作環境や顧客環境における質疑まで、幅広い質問が商材責任者に寄せられますが、まるっとAIボットに投げてもらえば、大概のお問い合わせは解決可能。





社外向けの問い合わせ工数を削減する目的

主な設置先：HP/LPなどWebサイト、ActiBook

例1

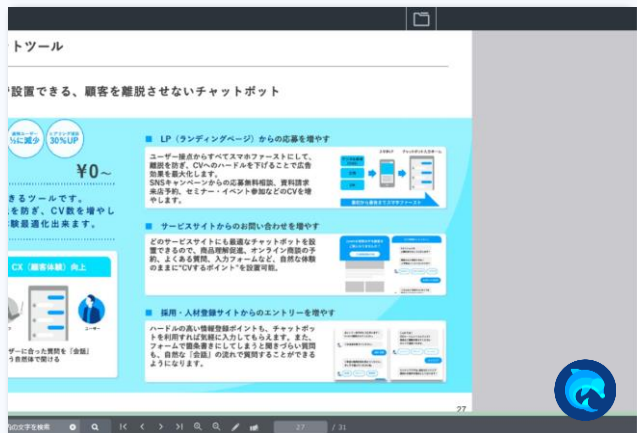
コールセンターや事務における顧客対応が嵩んでいるので、費用を抑えるためにボットを検討したが、初期設定や網羅範囲を考えると現実的ではなかったが、まるっとAIボットに投げてもらえば、大概のお問い合わせは解決可能。

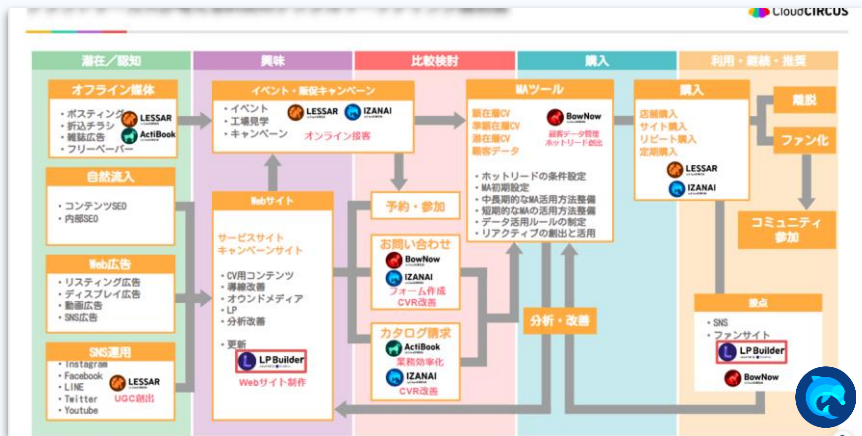
回答方法についても細かく設定を行えるため、顧客対応への不安も大丈夫。

例2

探したいコンテンツに辿りつけるように、ユーザー導線は整えておきたいが、Webサイトの改修は費用が高いため検討できないから何かないかと、まるっとAIボットに投げてもらえば、大概のお問い合わせは解決可能。

回答に利用したのURL参照先も開示できるため、離脱率の低減にも寄与。





オペレーターや新規配属先での質疑や処理工数を削減する目的

例1

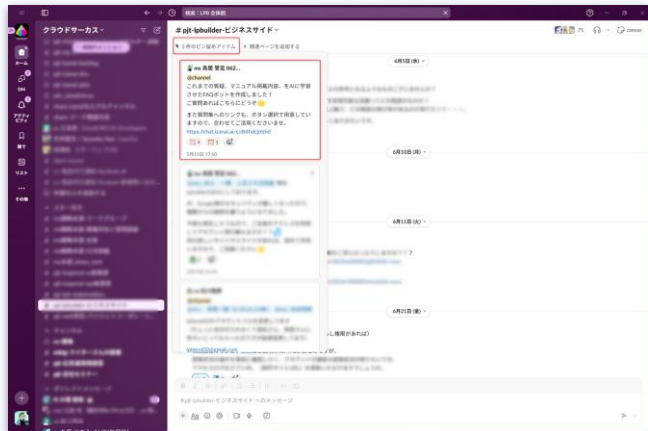
コールセンターやメール窓口など、顧客に対する品質対応の部署等がある場合、同じ質で回答を用意してもらうには担当への教育コストが非常に高く、難儀されるケースが多いですが、まるとAIポットに投げてもらえば、大概のお問い合わせは解決可能。

メール文章を作らせ、処理工数の削減も可能である。

例2

新規配属や新規採用の方々は、何かと質問が多くなるのは自明ですが、その対応に時間を割かれることもやはり業務の障害なりがちですが、それもまるとAIポットに投げてもらえば、大概のお問い合わせは解決可能。

基本的な回答の他、参考資料を閲覧して、タイトルから検索対応まで取れるため、キャッチアップが容易になる。



購入や意思決定に至るまでの

"分からない"をなくし、ユーザー行動をいざなう



その為に、

社内に眠る**独自の情報**や、営業・CS・サポート担当が属人的に持っている**情報**を、

24時間365日、ユーザーが望む情報を届けること。

試しに、実際、応募者が入力した質問を投げてみましたが、本当に精度が格段と上がっていて、びっくりしました(°Д°)!! 頭が良すぎて、もう人いないんじゃないかと恐ろしくなりました。



クラウドサーカスさんのツールは、いつもシンプルな機能で競合比較の良い価格を突いてくるのが上手いと思っていましたが、今回のAIボットもさすがですね。

ちょうどAIボットを社内で検討していたところだったので、(精度もタイミングも)びっくりです。



ご視聴ありがとうございました。



サービスLP

